

吉林省檔案館
編
廣西師範大學出版社

日本關東憲兵隊報告集（第一輯）3

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

延吉宪兵队思想对策月报(昭和十八年三月四日)	〇〇一
间岛宪兵队思想对策月报(昭和十八年七月八日)	〇三九
间岛宪兵队思想对策月报(昭和十八年十二月八日)	〇五九
东安宪兵队思想对策月报(昭和十五年二月九日)	〇八九
东安宪兵队思想对策月报(昭和十五年三月十日)	一二一
东安宪兵队思想对策月报(昭和十六年一月十日)	一四九
东安宪兵队思想对策月报(昭和十六年六月九日)	一八二
东安宪兵队思想对策月报(昭和十八年三月三日)	二一六
东安宪兵队思想对策月报(昭和十八年四月二日)	二九三
东安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	三〇四
东安宪兵队思想对策月报(昭和十八年十二月六日)	三五〇
东安宪兵队思想对策月报(昭和十九年二月五日)	三七五

北安宪兵队思想对策月报(昭和十五年二月十一日)	三九七
北安宪兵队思想对策月报(昭和十五年三月十一日)	四四九

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇四
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年四月二日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年三月三日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

本安宪兵队思想对策月报(昭和十八年八月十日)	五〇六
------------------------------	-----

昭和十八年二月四日
延憲高第 一一一號

思想對策月報 (第三號)

延吉憲兵隊本部

要	送	先
報告先 閱覽(五)	通牒先 隣接各隊 羅南29	寫 隊下丙
月	次	
要 一(黨主政)匪情報 二民族動向	三宗教邪教情報 一宗教 二邪教	四流 五其他 六(其他)對策服務實績

要
(一) 管内燔踞匪ハ抗联系残存匪約二十名ト推断
セルヲ一部匪ハ前期以来入蘇セルモノ如ク本期
匪出沒ハ二回延人員四名ニテ依然其活動低

調ナリ

(二) 民心ハ概不平稳ニ推移シテ然レトモ一部鮮
滿人間ニ於テハ統制経済施策ニ對スル反對的
傾向ハ屢發持ニ固然街ニ於ケル軍緊急急務
務者調査忌避或ハ鮮人兒童間ニ於ケル不
敬意職誘發ハ虞ケル迄戲ハ發生等ハ將來
嚴戒ヲ要ス

青島百草清基督教ハ客年一月監理派及

以老派金因ニ依^ルテ^モカ^ル爾^ハ派闘抗爭シ
最近本件ヲ繞リ更ニ基督敎對天主教對
五ニ迄進展表面化シリ注意ヲ要ス
揮春縣下一部鮮滿系人間郵政貯金ハ
近ク國防献金トシテ沒收セラル^ル云々ノ惡質流
言流布セラレアルヲ憲兵探知搜查結果犯人
五名ヲ檢挙目下取調中

一、(土政)匪情報

一、概況

管内靖匪ハ前期同様蘇聯操縱下ニ謀報
謀暴的暫行活動ヲ續行中一抗联系残存

一、二名ト推断セラル本期之カ出現匪數ハ
 二、匪人員四名ニシテ其ノ活動依然低調ナル
 カ之カ原因ハ一部匪ハ蘇ニ依ルモノナリト思料
 セラル而シテ之等匪ハ新指令ヲ受ケテ其ノ
 茂期ノ到来ト相俟ツテ活動ナル活動ノ展開
 フ豫想セラルヲ以テ警戒ヲ要ス
 (二) 系統匪數並蟠踞分布狀況

(属表ヲ要圖参照)

省別	縣別	地點	系統	匪首	匪數
間	汪清縣	東北郊區	蘇聯使族	不明	約一五名
輝南縣	西北郊區	抗聯第一路軍			五名

(三) 國分少 常匪對策動

本期雜知事項ナシ

(四) 策動狀況

本期間憲兵知得セズ匪情ハ二件ニシテ之カ狀

況左ノ如シ

月日	場所	系統匪首	區分	概況
二二	輝春縣興 仁村大荒	不明	警備	水畧製作又三名ニ對シ ④入山証明腕章有無 ④附近警備狀況
二二	青北方約 十一軒	鮮匪	狀況 等調	④附近警備狀況 等尋問、上北方ニ移 動ス
二二	水畧製作 小屋	一名	査	

一	一	一
南	東南方約三	安村西北清
料一地點	武裝鮮	不明
匪一名	友同	
薪採取中	附近軍情並交通通	一各對シ
等尋問上	信結狀況	附境方同
移動	約	

二 民族動向

(一) 緊張乃至協力的事象

各民族

④ 滿蒙時局講演會開催

汪清縣警務科 於テハ 一般官民、時局認

識徹底ト志氣振作昂揚ヲ圖ル爲縣
下日鮮満系遊々寮官ニ十二名ヲ講師ト
シテ二月二十日自十時至十二時春明國民優級學
校講堂ニ於テ時局講演會ヲ開催參會
者約二百名ニ多大感動ヲ興ヘタリ

④ 冬季防護訓練

汪清縣自衛團(二百名)消防隊(二百名)女子挺身隊(六十名)員六十名八自二月十一日自十一時至十四時
三日間汪清警察署長指導下ニ防護訓練ヲ實施セリ

二月十七日
二月十八日附音井街女子挺身隊員一

八五甲井邊警察署長指導下ニ防護訓練

ヲ實施セリ

④記念行事

管内主要街村(憲兵所在地)ニ於テハ二月十日

紀元節ニ際シ各地區別ニ在郷軍人會

協和會街公所等主催下ニ神社ニ軍官

民多數參集戰捷祈願祭ヲ舉行ス

又、延吉縣教化委員會(會長延吉縣長)ニ於テハ

紀元節ヲトシ協和會等ノ後援下ニ軍部

並駐滿独逸公使館外交官補ウナルグカンク

カリシス中其其他官民約四百名ノ參集下

二延吉街天主教聖堂ニ於テ聖戰必勝祈
願祭並東洋樞軸國陣歿將兵慰靈
赦禱式東本願寺ニ於テ戰捷祈願祭並
往伊陣歿將兵對スル慰靈祭ヲ夫々舉行
引續キ中央教化委員會員並前記外交
官補等時局講演ヲ實施參會官民ニ
多大感動ヲ與ヘ盛會裡ニ終了セリ

④増産推進大會開催

協和會開馬者本部ニ於テ八月十三日延吉映
更館ニ於テ本年度増産運動方針指達
爲者下協和會員代表ヲ招致在延關係

機關代表並中等學校生徒等六百名ノ
参席ヲ得増産推進大會ヲ開催本年度
増産決意ヲ披瀝強調セリ

(二月十日 社憲高第94號参照)

④國防献金及恤兵金

本期間区内街内ニ於テ憲兵ノ取扱ヒル
國防献金並恤兵金ハ二九件 二萬三千九百
十圓二二錢ニテ之カ内訳ハ日系一九件
二萬三千五百圓十一錢鮮系一口件 千八百
圓四十錢ナルカ殊ニ日系間ニ於テハ過去ノ
虚禮及廢上ノ献金ヲ爲ス等其ニ時局

日鮮人

時艱克服態度ヲ持テ

④ 間島有決戰皇民團期成會設立

延吉特務機關圖們連絡所長ハ豫テヨリ

鮮系皇民練成運動ニ關ハ有シアリシカ

去年末以降思想相容ル日鮮系有力者

數名共ニ時局下間島在住鮮系六十余万ヲ

以テスル總力体ハ組織結成ヲ企圖シ延吉特

務機關長代理ノ新任ヲ機トシ之カ諒解

得在延吉宜瓦周（元朝鮮中樞院參議）及森常

大郎(首系)ヲ主宰トシ本格的期成運動
ニ移リタルカ本年自二月四日四日間同門
ヲ有下日鮮系有力者並ニ協和會幹部
等十名會合シ首題期成會ヲ結成協和
會ノ翼トシテ推進スル決定ヲ見タル者
局及者協和會本部幹事中心ニ實踐方
法ニ反對意見ヲ有シ實現困難ノ狀況
ニアリ意見ハ推移ノ最視中

④ 揮春街協和青年團組織整備強化大
會開催

協和會青年團揮春縣統監部ニ於テハ二
月十四日揮春神社前ニ於テ街内全青年

團員ヲ動員同團體組織整備強化大會
ヲ開催決戦体制下ノ覺悟ヲ新ニセリ